

485系特急 雷鳥

金沢～大阪

(金沢総合車両所→京都総合運転所)



● RB-141157R / 238分 6,270円 (税込)

※本品はBD-Rでの販売です。

- 撮影日 / 2008年9月11日 晴時々曇
- 撮影列車 / 特急雷鳥 16号 485系9両編成 クロ481-2302
- 展望区間 / 金沢総合運転所⇒金沢(9:12発)⇒大阪(12:07着)⇒京都総合運転所

■ 本編の概要 ■

金沢総合車両所を出区し、徐行や一旦停止を繰り返し、金沢駅のホームへ向う。発車すると犀川の手前まで約1Kmを左に工事中の北陸新幹線の高架橋を見ながら走る。金沢平野を滑るように走り、419系や415系とのすれ違いも見られる。加賀温泉を出て、熊取トンネルで県境を越えて芦原温泉へ。九頭竜川を渡り、左に工事中的の新幹線が見えてくると福井に到着する。田園地帯を走り、北陸トンネルを抜け、交直セクションを通過すると敦賀に着くが、この当時は新幹線駅が造られるような気配すらない。近江塩津からは湖西線に入り京都へ。複雑線区間を走り淀川を渡ると大阪に到着となる。その後は回送で、北方貨物線から宮原総合運転所を経由して、新大阪付近から再び東海道本線を所属基地の京都総合車両所へと向って行く。



- 企画・制作・発売元 テラダプロジェクト
- 協力 西日本旅客鉄道(株)
(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ
- JR西日本商品化許諾済

◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆ (北陸新幹線敦賀延伸開業により、第三セクター化された金沢～敦賀の映像を多めにキャプチャしています)

※本作の映像は2006年に収録しています。収録の映像や解説、駅名等につきましては、当時のものですので、あらかじめご承知おき下さい。
※運転手の喚呼音、運転室の操作音、車内放送音を収録しています。



金沢総合車両所を出区。徐行や一旦停止を繰り返しながら、金沢駅のホームへ向う。



金沢を発車。駅構内の外れまで、工事中的の北陸新幹線の様子を眺めることができる。



主に七尾線で運転される415系だが、間合いで本線運用もある。(松任～加賀笠間)



北陸新幹線の駅ができる加賀温泉だが、まだ工事にかかる様子が窺えない。



熊取トンネルに入る。このトンネルが石川と福井との県境となる。(大聖寺～牛ノ谷)



681系「サンダーバード」号。「雷鳥」号も近い将来、すべてこの系統に統合されてゆく…



有名撮影地の九頭竜川橋りょうを渡る。(森田～福井)



福井の手前では、北陸新幹線の工事が進みつつあり、新幹線駅の様子も垣間見られる。



同僚の485系「雷鳥」と一瞬の出会い。(大土呂～北鯖江)



6両編の475系は、かつての急行列車を彷彿させるようだ。(王子保～南条)



敦賀手前の交直セクションを通過中。列車は惰性で走っている。



敦賀に到着。今や巨大な新幹線駅がそびえているが、当時はそんな気配すら感じられない。



湖西線では、湘南色の113系を目にすることができる。(唐崎～大津京)



山科で東海道本線に合流し、京都タワーが見えてくると、ほどなく京都だ。



淀川を渡れば、間もなく終点大阪。到着後は京都総合車両所へ回送されて行く。



北方貨物線～東海道本線を経由して、京都総合運転所に着き、行程を終える。

※キャプチャ画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。

■ 前方展望 (R) シリーズは、テラダプロジェクトの登録商標です。

パンフレット作成 2024年12月